



ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



【9月の市況ダイジェスト】

9月末、ドバイ金融市場総合指数は1,578.79(前月末比+2.0%)、アブダビ証券取引所株式指数は2,605.41(同+1.7%)、ナスダック・ドバイUAE20指数は1,722.68(同+4.2%)となりました。なお、通貨ディルハムは9月末で21.17円(投信協会発表値)と、前月末比1.3%のディルハム安・円高となりました。

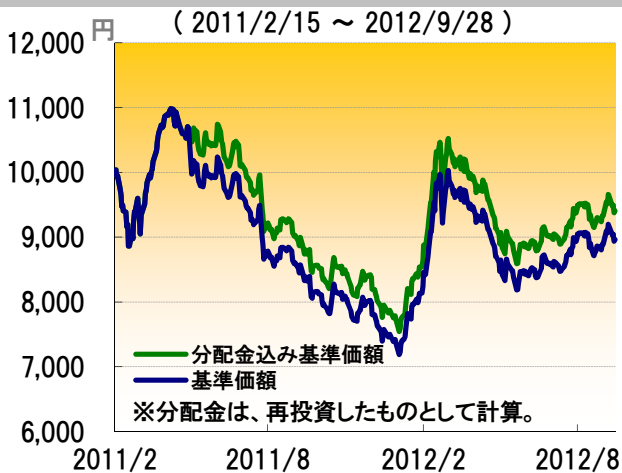
商品概要

商品概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
投資対象	アラブ首長国連邦の取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているアラブ首長国連邦関連企業の株式を主要投資対象とします。
設定日	2011年2月15日
信託期間	2011年2月15日から2021年2月15日まで
決算日	原則として年4回。毎年2月14日、5月14日、8月14日、11月14日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額・純資産総額の推移等

基準価額の推移 (設定来)



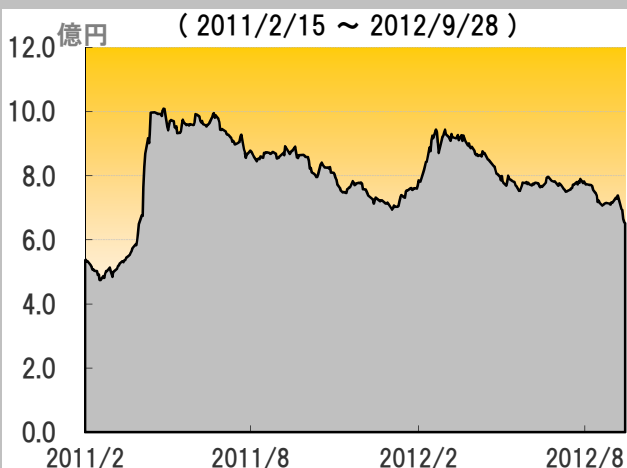
ファンドの現状 (2012/9/28)

基準価額	8,964 円
前月末比	+137 円
純資産総額	6.5 億円
前月末比	-0.6 億円

分配実績 (1万口あたり、税引き前)

第1期	2011年5月16日	500 円
第2期	2011年8月15日	0 円
第3期	2011年11月14日	0 円
第4期	2012年2月14日	0 円
第5期	2012年5月14日	0 円
第6期	2012年8月14日	0 円
合計		500 円

純資産総額の推移 (設定来)



運用実績

期間	騰落率
1ヵ月	1.6%
3ヵ月	6.9%
6ヵ月	-6.4%
1年	7.6%
設定来	-5.9%

※分配金は再投資したものと計算しています。

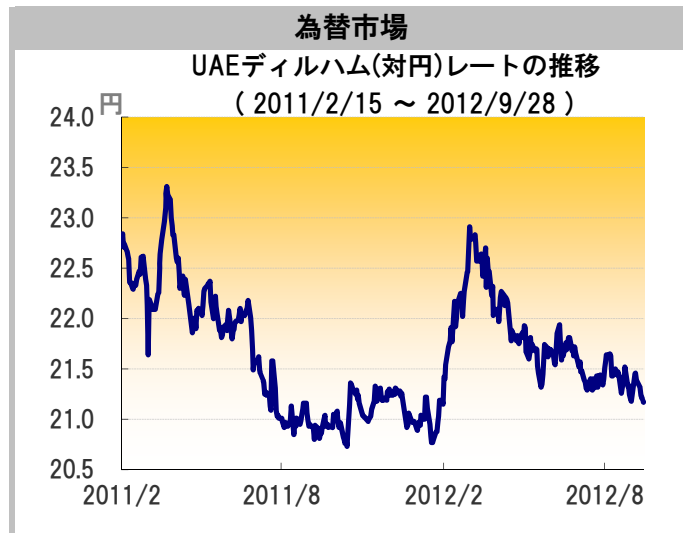
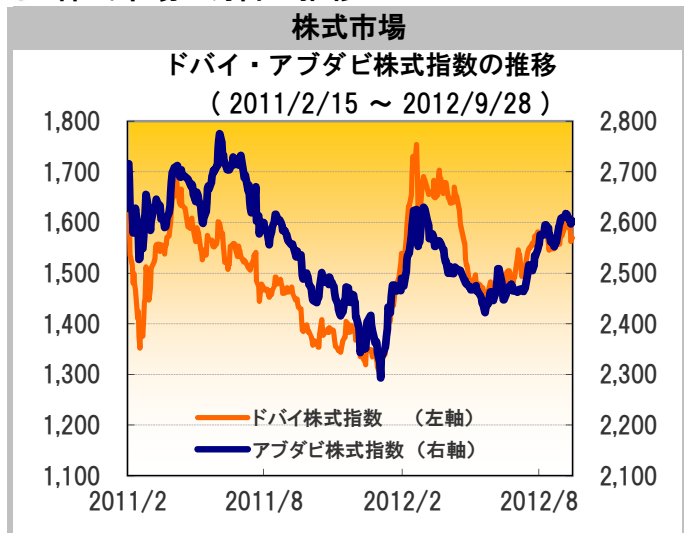


ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



株式市場と為替の推移



運用状況

資産別組入状況		投資比率
株	式	89.2 %
債	券	0.0 %
現金・その他		10.8 %
合計		100.0 %

業種構成		構成比率
銀行		30.6 %
運輸		24.0 %
不動産		18.3 %
資本財		5.3 %
保険		4.5 %
その他		6.5 %
現金		10.8 %
合計		100.0 %

組入銘柄数
14

組入上位10銘柄		
	業種	対純資産比率
DPワールド	運輸	17.4 %
エマール不動産	不動産	13.7 %
第一湾岸銀行	銀行	10.3 %
ユニオン・ナショナル銀行	銀行	8.5 %
アブダビ商業銀行	銀行	8.0 %
ドレイク&スカル・インターナショナル	資本財	5.3 %
イスラミック・アラブ保険	保険	4.5 %
ラアス・アル・ハイマ不動産	不動産	4.0 %
ドバイ・イスラミック銀行	銀行	3.8 %
ダナ・ガス	エネルギー	3.7 %



ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



■**エマージング市場**： ECBの無制限国債買入れプログラム、米国のQE3、日銀の金融緩和などで大幅上昇。新興国株式の動きを示すMSCIエマージング指数は、9月末で1,002.66ポイントと前月末比+5.8%の大幅上昇となりました。欧州中央銀行(ECB)の無制限国債買入れプログラム、米連邦公開市場委員会(FOMC)で住宅ローン担保証券(MBS)を追加購入する量的緩和第3弾(QE3)の導入、日銀による一段の量的緩和の実施など一連の金融政策が決定され、経済安定化への期待からリスク資産へ資金が流入し、新興国市場が堅調に推移しました。

■**ドバイ・アブダビ株式市場**： 世界的な金融緩和の動きで堅調に推移、後半には原油下落で値の重い展開。

9月の同地域の株価指数の動きは、

◎ドバイ金融市場総合指数	9月末	1,578.79	(前月末比+2.0%)
◎アブダビ証券取引所株式指数	"	2,605.41	(同 +1.7%)
◎ナスダック・ドバイUAE20指数	"	1,720.08	(同 +4.0%)

なお、通貨ディルハムは、9月末で21.17円(投信協会発表値)と、前月末比1.3%のディルハム安・円高となりました。

月前半においては、主要各国が実施する金融緩和策により経済が安定化へ向かうとの期待感から、ドバイ・アブダビ市場も堅調に推移しました。また、アラブ首長国連邦(UAE)における8月の消費者物価指数(CPI)は前月比で+0.33%、前年比で+0.95%と先月からは上昇したものの安定していることも買われる一因となりました。しかし、その後に発表された主要各国の経済見通しが悪化し、再びリスク回避的な動きが出たため原油価格が大きく下落、湾岸市場はその影響で値の重い展開となりました。

■**経済トピックス**

【貿易】 2012年上半期は2ケタ増

ドバイ関税局によると、2012年上半期の非石油貿易額は前年同期比12%増の6,020億ディルハム(1,640億ドル)、輸入額は12%増、輸出・再輸出額は同13%増となりました。貿易相手国トップはインドが全体の13%(770億ディルハム)を占め、続いて中国、米国でした。また、輸入品目上位は金(590億ディルハム)、宝石類(250億ディルハム)などです。

【石油生産】 300万バレルへ増加計画

アラブ首長国連邦は、2012年末までに石油生産能力を日量300万バレルまで増加させる計画です。同国は年初に日量270万バレルから280万バレルに増産しています。

【航空】 8月は大幅増

ドバイ国際空港によると、8月の利用者数は前年同月比20%増の485万人、貨物量は同4.4%増の19万770トンとなりました。同月の利用者の大きな伸びは、旅行者数が大幅に増加するラマダンの影響が大きいと見られます。1-8月の期間では利用者数は前年同期比13.4%増の3,778万人、貨物量は3%増の148万トンでした。



ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



◆ ファンドの特色

【運用プロセス】

■アラブ首長国連邦株式の中から比較的割安で投資魅力度の高い銘柄への投資に注力し、分散投資されたポートフォリオを構築することを目指します。

■トップダウン分析とボトムアップ分析を組み合わせたアプローチを用います。

・トップダウン分析ではマクロ経済動向および政治情勢等の見通しについて検討し、投資判断に活かします。

・ボトムアップ分析ではPER(株価収益率)などの指標分析やその他情報等を参考にして銘柄の配分を決定します。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。

◆ ファンドに係わるリスクについて

以下に掲げるリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

株式の価格変動リスク

当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

為替変動リスク

当ファンドは、主にUAEディルハム建ての株式に投資します(ただし、これに限定されるものではありません)。投資している通貨が円に対して強く(円安に)なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

カントリーリスク

投資対象国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。また、新興国の経済状況は、先進国に比較して脆弱であるため、インフレ、国際収支など経済の悪化や政治不安、社会不安などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きくなる可能性があります。

信用リスク

株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

資金移動に係わるリスク

当ファンドの主要投資対象国であるアラブ首長国連邦政府当局が資金移動の規制政策等を導入した場合、一部解約、償還等の支払資金の国内への回金が滞ることがあります。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。



ドバイ・アブダビ株ファンド
追加型投信／海外／株式



◆ お客様にご負担いただく費用

①お申込時に直接ご負担いただく費用

■ 申込手数料: 申込日の翌営業日の基準価額に対して上限3.15%(税抜3.0%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■ 信託財産留保額: 解約請求日の翌営業日の基準価額に対して0.3%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■ 信託報酬: 信託財産の純資産総額に対して年率1.533%(税抜1.46%)

■ その他費用: 有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用(手数料等)の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することが出来ません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

- 1.当ファンドは、海外の株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。
- 2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。
- 4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

◆ 委託会社その他関係法人の概要

■ 委託会社: 信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第383号

加入協会: 社団法人投資信託協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会

■ 受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

■ 販売会社 (五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	投資顧問業協会	一般社団法人日本	先物取引業協会	一般社団法人金融	引業協会	第一種金融商品取	一般社団法人
安藤証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商) 第1号	○		○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商) 第44号	○		○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商) 第195号	○		○				